

入れて一日のスケジュールを組む。

日案

一日のスケジュールでは、プログラムに柔軟性がなければならぬということ、身体的要求が先行するということが非常に強調されている。日案を立てる際の基本的なこととして①身体的要求が骨組となる。②他の活動は休息、活動のバランスをとる。③子どもたちの身体的リズムを考慮する。④天候によって外遊びを加減する。⑤常にあまり長い間、一つの事をさせない、などがあげられている。次に日案の例があげられている。午前の組と午後の組の二つがあつて、いずれも保育時間は二時間半程度。目につくことは身体的要求が重視され、優先していることと、自由遊び、仕事の後で、まず全体が集まって話し合い報告しあつてから片付けさせることである。地方によっていろいろの条件がある場合は三部制にしたり、二、三人の教師が一時に大勢のグループを指導したり、四部交替に登園させたなどいろいろの方法があげられている。

私立または特殊幼稚園などが子どもたちの理解を超えて教えこもうとする傾向について警告し、幼児は平均のとれた全体的プログラム、豊富な環境の中での「遊び」を通して最高に「好ましき能力」を発達させることができるのとべている。

・入園前の準備について

子どもたちが幼稚園生活をスムーズに始められるように予め入園前の子ども、母親を園に招き、幼稚園の部屋を見せ、品物を使用させ、また、教師が家庭訪問をして子どもたちに接触しておくと有利である。

・初めての日

初めての日は、子どもにとつても、両親にとつても困難を感じる人が多いので、一度に全部の子どもを登園させず、毎日だんだんに人数を増していく方法、馴れるまで小数ずつ交替で登園させる。また前年度の両親を助手にして手伝ってもらう。などの方法がのべられている。初めの日のスケジュールは基本的な日案と同じである。

(東京・あけほの幼稚園 網谷夏海)

幼児の教育 第五十八巻 第十号

十月号 © 定価五〇円

昭和三十四年九月二十五日印刷

昭和三十四年十月一日発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 津 守 真

発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五番地

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌ご購入についてのご注文は発売所フレイベル館にお願いいたします。